

水道の冬支度は大丈夫ですか

◎凍結防止のポイント

- ①凍り止めの閉栓は、蛇口を全開にして行い、水が完全に下がってから蛇口を閉める。
- ②水道管がむき出しになっている部分には毛布などを巻いて、さらに、その上をぬれないようにビニールなどで覆う。

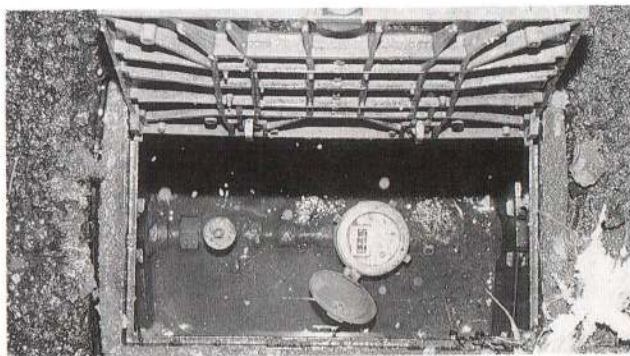


- ③床下の換気孔を閉じる。
- ④メータボックスには発泡スチロールなどを入れて防寒する。

※蛇口に「凍結防止器」を取り付ける家庭が増えています。しかし、誤った使い方をすると火災を引き起こす危険性があります。取り付けの際は説明書をよく読み、事故が起きないように注意しましょう。

寒さも日増しに厳しくなってきました。皆さんのお宅では冬支度はお済みでしょうか。冬期間は、特に水道が凍結しないよう注意が必要です。水道の凍結は、水道管の破裂、水道器具の故障の原因になり、思わぬ出費を招くことに。

本格的な冬を迎える前に水道の設備をしっかり点検、整備してこのようなトラブルを未然に防ぎましょう。そして、冬期間は水道の水抜きを習慣として行いましょう。



◎メータボックス周辺の除雪を

冬期間は、積雪のため検針ができない場合があります。そのため、漏水の発見が遅れ、多額の水道料がかかってしまうことがあります。このようなことを防ぐためにも、メータボックスの周辺は、常に除雪しましょう。

◎開閉栓の申し込みはお早めに

年末年始や長期にわたって留守にするときなどの料金精算や開閉栓のお申し込みは、大変混み合います。お出かけの5日前までをお願いします。

お問い合わせは 水道課 ☎42-4117まで

市長リポート

No.172



雇用を
創出するためには

長引く不況で、労働市場はいつこうに改善せず、全国的に厳しい状況が続いています。そうした中で、大館市を含む県北地域が国による「雇用機会増大促進地域」に指定されました。これによって、地域雇用開発助成金制度が適用されることとなります。この制度は、ある基準以上の従業員を雇った事業主、または、事業所の設備を設置、整備した事業主に助成金を支給するというものです。事業主の皆さんには、ぜひこの制度を活用していただきたいと思っています。

雇用の確保は行政にとって重要課題であります。特に次の三つの世代のかたへの職場の提供が急務と考えています。まずは、学校を卒業して地元への就職を希望しているかたです。人口の流出が続く大館の将来を考えますと、若者が地元企業へ定着することは非常に大切なことです。次に、この不況で職を失ってしまった中高年のかたです。

この世代は、家計を支えており、職場の不足は非常に深刻です。そして最後に、定年退職後も仕事を続けるかたです。高齢者への職場の提供は、福祉対策の観点からも必要なことです。これらを実現するため、各企業に雇用の機会を増やしてもらうようお願いいたしますとともに、企業と一体となって努力していきたいと思っております。これには、一定水準の公共投資を保つことも必要でしょう。

雇用の場をつくるという点でも、現状の産業では労働需要を完全に満たすのは非常に困難なことです。そこで、新たな産業作りを取り組む必要があります。市が考えているリサイクル産業の導入は、環境問題の緩和とともに、働く場も提供してくれます。これからの課題は、この新しい産業であるリサイクル産業を中心に置いて、大館を今まで支えてきた農業、林業、鉱工業といった基幹産業をもう一度建て直すことで、だれもが就業できる環境作りを進めていくことだと思っております。

小畑 元